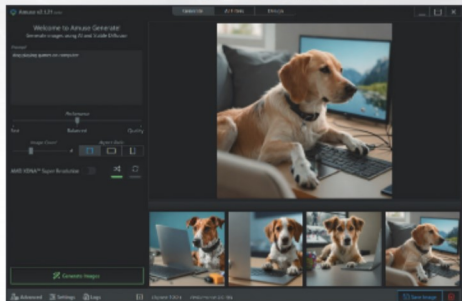


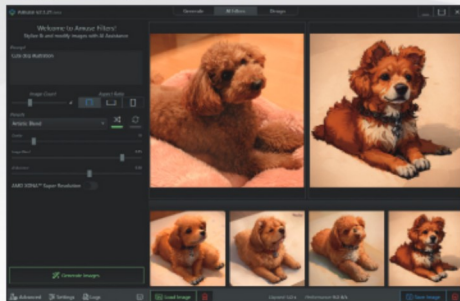
無料かつオフラインで使えるAMUSEで手軽にAI画像生成が楽しめる!

テキストから画像を生成!



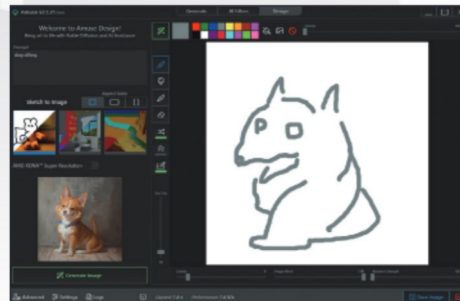
↑AMUSE 2.1では、他の画像生成AIと同じようにテキストを入力して画像が生成できる。ただし、英語のみ対応。しかし、翻訳アプリで翻訳した単純な日本語を入力するだけでも使えるので、特に迷う必要はない。

既存の画像を変える



↑既にある写真やイラストなどの画像をベースに、画像生成も行なえる。テキストからの生成と同じく、テキストで指示すると、より精度が高くなる。たとえば、犬の写真を可愛いイラストにするなどが簡単に行なえる。

イラストから画像化



↑手書きのイラストからも画像が生成できる。この際もテキストで補足情報を与えると精度が高くなる。マウスでとても下手な絵を描いて、AIが判別できなくても、「座った犬」など補足情報を入れると、結果が良くなる。

AMD RADEON™に最適化されたAIプログラミング

	OS	難易度	学習・推論	機能	対応GPU
AMUSE 2.1	Windows	簡単	推論	画像・動画生成	AMD Radeon RX 7000シリーズ※
ROCm 6.2.2	Windows、Linux	上級・研究者向け	学習・推論	AI全般	AMD Instinct MIシリーズ、AMD Radeon PROシリーズ、AMD Radeon RX 7900シリーズなど

←AMDは無料で使えるAIツール「AMUSE 2.1」と、より高度なAI研究やスパコンを使ううえでのオープンなソフトウェア群「ROCm 6.2.2」などを提供。それにより、個人から法人まで幅広い用途・ユーザーに使われ始めている。

※FLUX.1 Schnellの使用はRadeon RX 7900 XTやRadeon Pro W7800などが必要。

AMD RADEONはスーパーコンピューターやAIトレーニングなどありとあらゆる場所で活躍!

4Kゲーミング AI生成

AMD Radeon RX 7900 XT以上

1440pゲーミング AI生成

AMD Radeon RX 7700 XT以上

1080pゲーミング

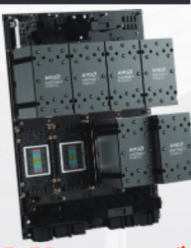
AMD Radeon RX 7600以上

AMD RADEONは用途に応じて、さまざまな製品がある。メインストリームのAMD Radeon RX 7000シリーズは、ゲームをプレイする解像度ごとに目安となるラインアップがあり、VRAMが大きく、AI生成でも活躍する。

大規模AIトレーニング

スパコン


クラウド



AMD INSTINCT MIシリーズ

プロフェッショナル業務

AIトレーニング



AMD Radeon PROシリーズ

競合に勝る性能を実現し 今後AI分野でも活躍

AMDはゲームだけでなく、AI向け半導体やツールの拡充も次々行なっている。昨年、サーバーやスーパーコンピューター（スパコン）向けのAMD INSTINCT MI 300シリーズを発表。3Dパッケージング技術などにより、競合と同じく8つのGPUを接続できるようになった。さらに、広帯域のHBM3eメモリを搭載し、容量と帯域で競合を上回った。

今年6月にはAMD INSTINCT MI 325Xや次世代アーキテクチャCDNA4を発表した。ワークステーションにおいても、2スロットのAMD Radeon PROシリーズを発売。機械学習向けのプラットフォームフォームROCmを発展させ、映像制作やAI生成の利便性も向上し続けている。メインストリームのAMD Radeon RXシリーズのAI性能も向上し、一般ユーザーにおいてもゲームだけでなく、AI生成での利用が広がりそう。